

6年1組

 高く 長く 美しく飛ばしたい わたしの竹とんぼ
 ~King's Ely SchoolとのZOOM交流~


★king's Ely School との ZOOM 交流★

2月28日(月)17時45分、画面にKing's Ely (イギリスのキングスイーリースクール) の子どもたちが映った瞬間、ランチルームに大きな歓声が沸きました。私たち6年1組は、昨年度からKing's Elyの子どもたちとの交流を続けてきました。これまで手紙や動画のやり取りをしていた子どもたちでしたが、最後にリアルタイムで交流したいと願いを持った子どもたちと一緒に、このZoomでの時間を計画し、創り上げていきました。画面越しにKing's Elyの子どもたちが登場した瞬間、子どもたちは、今、本当に交流することができるのだと実感したのではないのでしょうか。子どもたちが手を振ると、向こうの子どもたちも手を振って返してくれる。そんな言葉のないコミュニケーションも、とてもうれしそうでした。自分の行為がちゃんと返ってくるということ、やっぱりうれしいことです。こっちも笑顔、向こうも笑顔でいるとそれだけでも幸せな気持ちになりました。お互いに、今日という日を楽しみにしていたんだなということが、画面越しにも伝わってきました。



「お互いのことをもっと知り合いたい」と願った子どもたちは、双方からクイズを出し合うことを計画していました。クイズを出す。クイズに答えてくれる。そんなやりとりも見ているだけでとても私はワクワクして楽しかったです。それは、お互いに、いろんな反応をしてくれていたからです。Tさんの日記にも、「クイズをやった時、私たちがやっている時、King's Elyの皆の反応を見るのが楽しかったです。」と書いてありました。私も同じ思いでした。ただクイズに答えてくれるだけでなく、喜んだりガッツポーズをしてくれたりするのを見ていると、「本当に今交流しているんだな」ということが実感できました。

そして、最後に、竹とんぼを飛ばす時間を設けました。この竹とんぼは、以前、King's Elyの子どもたちにも竹とんぼを楽しんでほしいと、一人ひとりにプレゼントしたものです。海を渡った竹とんぼ。「イギリスに竹とんぼが飛ぶ」ということが、目の前で見るのができたことは、子どもたちにとってとてもいい思い出になったのではないかと思います。子どもたちの交流はこれで終わりになったわけではありません。Zoom交流を終え、その後改めて手紙を書きました。小学校を卒業した後は、個人としての交流が生まれていくかもしれません。この後の交流がどうなるのか分かりませんが、この機会が、お互いの子どもたちにとっての交流のきっかけになればと思っています。

この2年間竹とんぼを追究してきた中で、様々な活動とつながり、たくさんの人たちとの出会いがありました。それは一つひとつがイベント的なものではなく、子どもたちたちの歩みと共に広がっていった活動でした。そんな時、子どもたちは自ら動き出していったように感じています。「竹とんぼは人とのかわりを生んだり、世界までつないだりするんだな」と振り返ったOさんの言葉は、私に、一つのことを追究していくことの大切さを教えてくれました。